

まちなか再生の鍵は

新潟公開講座に市民ら60人

新易行

生をテーマにした公開講

するには大変な努力が必要だ」と強調した。

会社をつくつてはどうか」といった意見が出さ

座「新・新潟学講座」が
12日、同市中央区の事業
創造大学院大学で開かれ
た。まちづくりに関心の
ある市民ら約60人が参

加。まちなか再生に向か
た方策を考えた。

原副学長と、信田和宏
同大教授によるディスカ
ッションでは、古町の
"コンセプト"について
意見交換。

新潟市が設置した「まちなか再生本部」の座長を務める原敏明同大副学長が、人の流れや百

信田教授は「単にノスタルジーを喚起させるのではなく、歴史、現在、未来を含めた提案型のまちづくりが必要だ」と述べた。

貨店の売り上げといった
データを基にしたまち
なかの現状について講
演。

参加者からも「行政だけに頼らず、まちづくり全体をコーディネートする誰でも参加できる

商店数やサービス業の事業所数の推移などを不^しし、「古町地区は中心的^性格を失い、魅力を回復^し

まちなか再生に向け、意見を交わした公開講座＝
12日、新潟市中央区



れた。

公開講座は新潟の活性化を目的に、同大OBが企画した。今秋にもまちなかをテーマにした講座を行う予定。